置賜広域行政事務組合広域的婚活推進事業

おきたま LOVEワゴン

実績報告書

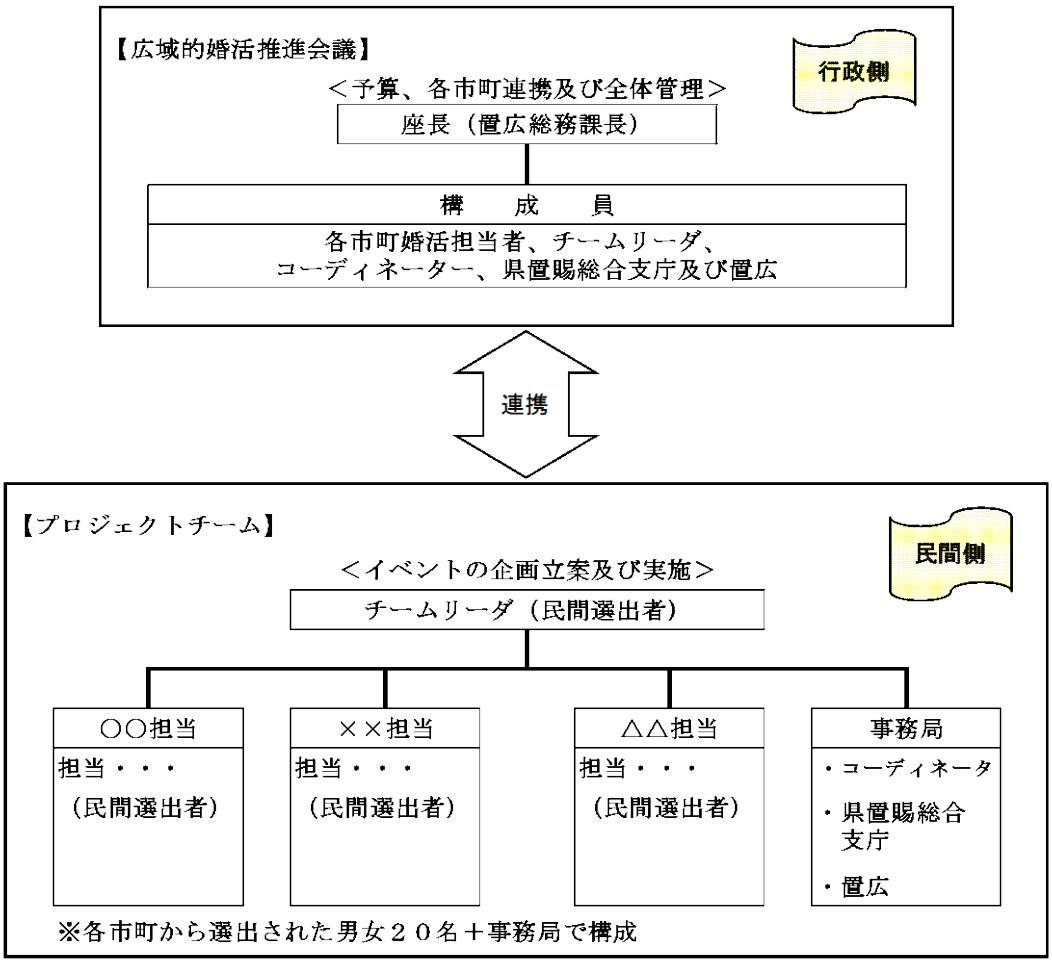
事業期間：平成２５年度

実施主体：広域的婚活推進事業プロジェクトチーム

１　事業概要

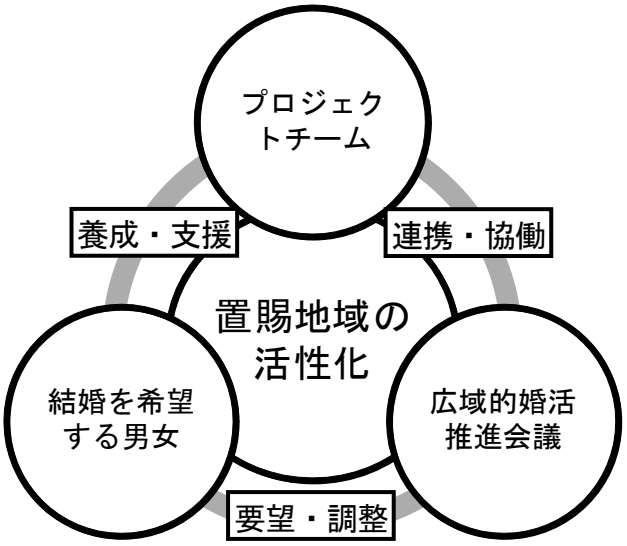
事業目的	置賜各市町の未婚化や晩婚化を解決するため、各市町の婚活担当者及び民間団体の選出者が連携し、置賜地域が一体となって広域的婚活推進事業に取組むことで、多くの男女に出会いの場を創造するとともに、より多くのカップル誕生を目指し、お互いの人生が豊かになることと、地域全体の活性化及び魅力あふれる地域づくりを目的とする。 また、事業も３年目を迎え、知名度が広まっており、多数の参加者を集めることができることから、今年度も継続して事業を行い、気軽に参加できるイベントを実施することで、今まで婚活に足を運ぶことのなかった方も参加できるような仕組みをつくる。		
企画名	企画第１弾 「大人のアウトドア大作戦 in よこね」	企画第２弾 「Sweets　Christmas」	企画第３弾 「シュミカラコン」
開催日時	平成２５年 ９月２２日（日） 午前１０時３０分～ 午後３時３０分	平成２５年 １２月１４日（土） 午後３時００分～ 午後６時３０分	平成２６年 ３月２１日（金・祝） 午後２時００分～ 午後５時００分
開催場所	小国町健康の森よこね	南陽市「蔵楽」	カラパラ南陽店
申込者	男性２０名 女性２２名	男性３１名 女性３２名	男性１６名 女性１０名
参加者	男性１９名 女性２０名	男性３０名 女性３０名	男性１４名 女性１０名
結果	３組成立	３組成立	自己申告による
主催	広域的婚活推進事業プロジェクトチーム		
協力	置賜広域行政事務組合、米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、白鷹町、飯豊町、小国町及び山形県置賜総合支庁		

2　組織体制



3　運営方法

プロジェクトチーム、結婚を希望する男女、広域的婚活推進会議が連携・支援・調整を行いながら広域的婚活推進事業を実施します。



４　プロジェクトチームメンバー名簿

市 町 名	氏　　名	所属団体
米 沢 市	鈴木　　学	米沢市役所
米 沢 市	鈴木ちひろ	公益社団法人　米沢青年会議所
長 井 市	川崎　麻恵	長井まちづくりＮＰＯセンター
長 井 市	鈴木　　結	長井まちづくりＮＰＯセンター
南 陽 市	○小下　圭介	青年教育推進事業
南 陽 市	野川　　歩	青年教育推進事業
高 畠 町	小田部健二	高畠町商工会青年部
高 畠 町	佐藤　翔子	高畠町役場
高 畠 町	吉田　咲穂	高畠町役場
川 西 町	日下　直樹	いぬかわ振興協議会
川 西 町	◎佐々木美里	川西塾わげしゅ
白 鷹 町	後藤　　元	白鷹町商工会青年部
白 鷹 町	新野　　学	恋の種まき桜実行委員会
飯 豊 町	長岡　恒平	にぎわい再現プロジェクト
飯 豊 町	細川　由貴	にぎわい再現プロジェクト
飯 豊 町	二瓶　　綾	にぎわい再現プロジェクト
小 国 町	伊藤　俊哉	ここ掘れ和ん話ん探検隊
小 国 町	鈴木　拓也	コネクト実行委員会
小 国 町	舟山　　悠	おぐにスポーツクラブＹｕｉ
小 国 町	○今　絵理子	おも白い森

※氏名の前にある◎はプロジェクトチームリーダー、○はサブリーダーを表しています。

５　プロジェクトチーム会議開催及び事業実施の状況

各市町から推薦された２０名のメンバーによるプロジェクトチームは、第１弾については、イベント実施に係る効率性を図る観点から、午前の部を考えるグループと午後の部を考えるグループに分かれ検討し実施した。第２弾については、全員で意見を出し合い、イベントの企画立案及び実施した。第３弾については、準備期間が短かったため、当日参加可能なメンバーで詳細な内容を検討し実施した。各会議全体ではメンバー間の活発な意見の交換があり、事業に活かされているところである。

平成２５年６月にプロジェクトチームを結成し、イベントに係る会議の開催及びイベントの実施状況は以下のとおりである。

月　　日	名　　称	場　　所	内　　容
６月２７日	第１回会議	南陽市	プロジェクトチームの結成、リーダー選出、事業計画の検討
７月１３日	第２回会議	小国町	事業実施予定場所にて下見、イベントについて検討
７月２３日	第３回会議	飯豊町	グループ分け、グループ毎に事業内容の検討、チラシ（案）の確認
８月２６日	第４回会議	南陽市	グループ毎に課題を協議、第２弾イベントの検討
９月１０日	第５回会議	飯豊町	第１弾イベントについての協議
９月２１日	前日準備	小国町	第１弾イベントの準備
９月２２日	第１弾イベント	小国町	大人のアウトドア大作戦 in よこね
９月３０日	第６回会議	南陽市	第１弾イベントの振り返り、第２弾イベントの検討
１１月　５日	第７回会議	南陽市	第２弾イベントについての協議、チラシ確認
１１月２０日	第８回会議	飯豊町	第２弾イベントについての協議
１２月　３日	第９回会議	飯豊町	第２弾イベントについての最終確認
１２月１４日	第２弾イベント	南陽市	Ｓｗｅｅｔｓ　Ｃｈｒｉｓｔｍａｓ
１月２４日	第１０回会議	南陽市	第２弾の振り返り、第３弾イベントについての協議
２月　４日	第１１回会議	南陽市	第３弾イベントについての協議
２月２０日	第１２回会議	南陽市	事業実施予定場所にて下見、第３弾イベントについての協議
３月１６日	第１３回会議	飯豊町	第３弾イベントについての最終確認
３月２１日	第３弾イベント	南陽市	シュミカラコン

６　活動報告

広域的婚活推進事業プロジェクトチーム第１弾イベント「大人のアウトドア大作戦 in よこね」について

ねらい

参加者はキャンプ場内でウォークラリーをして打ち解けてもらい、バーベキューを食べながら参加者同士が交流し、その後、様々なアトラクションを通じて参加者の懇親を深めてもらう。

１　第１弾イベント「大人のアウトドア大作戦 in よこね」

（1）開催日時　　平成２５年９月２２日（日）午前１０時３０分～１５時３０分

（2）開催場所　　小国町「健康の森よこね」

（3）募集内容　　２５歳～３９歳までの独身男女各２０名

（4）参 加 者　　男性１９名、女性２０名

【参加者内訳】

市町名	参加者	市町名	参加者
米沢市	男性２名、女性４名	白鷹町	０名
長井市	男性６名、女性４名	飯豊町	男性２名
南陽市	男性３名、女性６名	小国町	男性１名、女性２名
高畠町	女性２名	その他	男性２名、女性３名
川西町	男性２名		

※２人１組での応募であり、代表者の住所を参照したもの。

（5）スタッフ

プロジェクトチーム（１４名）および事務局（総合支庁１名、本組合職員４名）で当日の運営を行った。

（6）結　　果

カップル成立は３組であったが、ウォークラリーやバーベキューでグループで行動したことにより、参加者同士の仲が深まり、カップルにならなかった人同士でも携帯番号の交換を行い、今後の関係発展に期待できる終わり方となった。

（7）タイムテーブル

開始時刻	所要時間	内　　容
8:30	0:30	米沢駅バス出発、９：００赤湯駅、９：３０飯豊めざみの里
9:30	1:20	スタッフ集合、会場準備
10:50	0:10	参加者到着、開会式
11:00	0:30	男性２人、女性２人で１グループとし、ローテーショントーク

11:30	1:20	男性４人、女性４人で１グループとし、ウォークラリー
12:50	1:00	バーベキュー第１部開始、ウォークラリーのグループで飲食を行い、ウォークラリーでのクイズの解答結果に応じて賞品配布
13:50	0:30	バーベキュー第２部開始、男性陣は焼きそばを作り、女性は自由に席を移動
14:20	0:30	フリートーク
14:50	0:30	告白カード記入、マッチング
15:20	0:10	結果発表、最後の告白タイム
15:30	0:30	後片付け

（8）当日の様子

開会式	ローテーショントーク
ウォークラリー	ウォークラリー
バーベキュー	フリートーク
告白タイム	告白タイム

広域的婚活推進事業プロジェクトチーム第２弾イベント「Ｓｗｅｅｔｓ　Ｃｈｒｉｓｔｍａｓ」について

ねらい

参加者はパーティーという非日常感と、甘いスウィーツやフラワーアレンジメントという女性の好きなものを通して親睦を深めてもらい、様々なアトラクションを通じてお互いの魅力を見つけてもらいます。

２　第２弾イベント「Sweets Christmas（スイーツクリスマス）」

（1）開催日時　　平成２５年１２月１４日（土）午後３時～午後６時３０分

（2）開催場所　　南陽市「蔵楽」

（3）募集内容　　２５歳～４０歳までの独身男女各３０名

（4）参 加 者　　男性３０名、女性３０名

【参加者内訳】

市町名	参加者	市町名	参加者
米沢市	男性５名、女性６名	白鷹町	男性４名、女性１名
長井市	男性５名、女性３名	飯豊町	男性３名、女性２名
南陽市	男性４名、女性７名	小国町	男性２名、女性１名
高畠町	男性３名、女性４名	その他	男性１名、女性５名
川西町	男性３名、女性１名		

（5）スタッフ

プロジェクトチーム（１５名）および事務局（総合支庁１名、本組合職員４名）で当日の運営を行った。

（6）結　　果

カップル成立は３組であったが、イベント中に名刺交換を行う時間を設けたことや、イベント終了後に参加者も含めた二次会を開催したことにより、イベント中にカップルにならなかった人同士でも連絡先の交換を行い、今後の関係発展に期待できる終わり方となった。

（7）タイムテーブル

開始時刻	所要時間	内　　容
12:30	2:00	スタッフ集合、会場準備
14:30	0:30	参加者受付
15:00	0:10	開会式
15:10	0:35	男性２人、女性２人で１グループとし、ローテーショントーク

15:45	0:40	フラワーアレンジメント
16:25	0:30	長井市 BRANDORE（ブランドォレ）の小松パティシェによるロールケーキ作製の実演、参加者によるロールケーキのデコレーション
16:55	0:45	スイーツビュッフェ、フリータイム
17:40	0:30	告白カード記入、マッチング
18:10	0:20	結果発表、最後の告白タイム
18:30	1:00	後片付け
19:30		二次会

（8）当日の様子

開会式

ローテーショントーク

フラワーアレンジメント

ロールケーキ作製実演

ケーキデコレーション

フリータイム

告白タイム

告白タイム

広域的婚活推進事業プロジェクトチーム第３弾イベント「シュミカラコン」について

ねらい

婚活としてではなく、同じ趣味の方が集まるイベントを開催し、気軽に参加してもらい、参加者には共通の話題で盛り上がってもらうことにより、多くの方に出会いのきっかけを作る。

３　第３弾イベント「シュミカラコン」

（1）開催日時　　平成２６年３月２１日（金・祝）午後２時～午後５時００分

（2）開催場所　　カラパラ南陽店

（3）募集内容　　２５歳～４０歳までの独身男女各２４名
募集ジャンルごとの応募とし、①アニソン枠、②ＬＤＨ枠、③ジャニーズ枠、④ゆず枠、⑤ＦＵＮＫＥＹ　ＭＯＮＫＥＹ　ＢＡＢＹＳ枠、⑥Ｖ盤枠、⑦フリー枠の７つのジャンルを設けた。

（4）参 加 者　　男性１４名、女性１０名（アニソン枠６名、Ｖ盤枠４名、フリー枠１４名）

【参加者内訳】

市町名	参加者	市町名	参加者
米沢市	男性２名、女性５名	白鷹町	０名
長井市	男性１名	飯豊町	０名
南陽市	男性３名	小国町	男性３名
高畠町	男性２名、女性３名	その他	男性２名、女性１名
川西町	男性１名、女性１名		

（5）スタッフ

プロジェクトチーム（８名）および事務局（本組合職員３名）で当日の運営を行った。

（6）結　　果

第３弾イベントについては、第１弾、第２弾のような「婚活」という言葉を前面に出さず、同じ趣味を持った参加者が出会う場としてのイベントであったため、カップルの成立については求めていなかったが、参加者同士の活発な連絡先交換化があり、今後の関係発展に期待できる終わり方となった。

（7）タイムテーブル

開始時刻	所要時間	内　　容
13:00	0:30	スタッフ集合、会場準備
13:30	0:30	参加者受付
14:00	0:05	各部屋にて開会

14:05	0:05	自己紹介
14:10	適宜	カラオケタイム（フリー枠は途中で部屋替え）
16:55	適宜	トークタイム
17:00		終了、後片付け
17:30		撤収終了

（8）当日の様子

アニソン枠	V盤枠
フリー枠①	フリー枠②

7　総括

区　　分	意　　見
第1弾イベントの振り返り	・バスの到着が遅れてしまい、予定時間を過ぎてのイベントスタートとなったが、その後のスケジュール調整により終了時刻どおりに終了することができた。車で移動するイベントをする際には時間にゆとりを持って、遅れを吸収できるようにすることが大切である。 ・ローテーショントークは1対1で行うよりも、2対2のほうが盛り上がっていた。時間も3分では長くなってしまうので、2分から2分30秒で調整したほうがよい。 ・ウォークラリーで、女性の服装がアウトドア向きでない方がいたので、服装について、しおりだけでなく、もっと周知したほうがよかった。 ・ＢＢＱはウォークラリーで到着した班から乾杯をしてもらい始めてもらったが、各班盛り上がっていたので、良い流れで進めることができた。 ・ＢＢＱの第2部は、女性の動き出しが遅く、あまり時間が取れなかった。もっとスタッフからのアナウンスが必要であった。 ・フリートークは男性陣がなかなか動かないため、スタッフが誘導していた。 ・ローテーショントークで回収した第1印象カードをもっと活用したほうがよい。 ・マッチングの後にファイナルジュテームということで、告白時間を設けたが、この試みは良かった。
第2弾イベントの振り返り	・当初の予定ではなかったが、受付を済ませた人からドリンクを配ったので、ドリンクカップが不足してしまった。前もって、どのタイミングで配るのか打ち合わせをしておくべきだった。 ・参加者が受付時間より早く来場しても、個々の判断で対応できていたのでよかった。 ・立ちっぱなしの時間が多く、参加者が疲れていたので、休憩時間やイスに座る時間をもっと増やしたほうがよかった。 ・第1弾の振り返りでもあったが、フリータイム時に参加者自らが動くように仕掛けなければいけない。 ・ローテーショントーク→フラワーアレンジメント→スイーツビュッフェ→フリータイムと場面の展開がスムーズに出来ていたので、メンバー間の意思疎通ができていた。 ・ドレスコードをしおりに書いて郵送したが、普段の服装で参加される方がいたため、浮いてしまっていた。今後、周知の方法について検討が必要である。
第3弾イベントの振り返り	・有志のメンバーでの開催だったが、ほとんどのメンバーが手伝ってくれたのでよかった。 ・準備期間が短く、周知範囲が狭かったため、参加者を募集してもなかなか集まらなかった。 ・趣味コンということでジャンル分けをしたが、フリー枠を応募する方が多く、カラオケを趣味とする方を対象とした方が参加者は集まったかもしれない。 ・フリー枠が様々な歌が歌えるということもあり、部屋は盛り上がっていたが、アニソン枠、Ｖ盤枠については固定された曲しか歌えないため、持ち歌がなくなると歌えなくなる人がいたことから、途中でフリー曲へと変更した。

8　イベントチラシ

第１弾チラシ

第２弾チラシ

第３弾チラシ